

学生たちが考える協同労働

本号は2021年度実施したワーカーズコープの寄附講座を開講した一部の取り組みを紹介している。今まで本誌では継続的に寄附講座の学びを紹介してきた*1。今までの寄附講座の特集との違いとして2つある。第1は寄附講座や協同労働・労働者協同組合を紹介する講座で、学生たちが協同労働をどのように捉えたのかに注目している点である。学生にとって協同労働の働き方や労働者協同組合の実践をより興味深く捉えられてきていると共に、問いや探求したいという意見も多く寄せられている。そのため本号では学生の感想を多く掲載する内容となっている。

第2は学生自身や学生に近い視点で寄附講座について執筆いただいたことである。

埼玉大学の寄附講義の報告では、受講生で現役学生の西山花音さんが執筆し、本誌では初めて学生自身が寄附講座について執筆したものとなった。学びの当事者である学生自身が今年度の寄附講座の学びを振り返ったことは、今後の寄附講座を学生自身がつくっていく大きな試金石になるのではないかと考えている。また桃山学院大学では、昨年大学を卒業して現在、ワーカーズコープの職員として寄附講座の事務局をしている石河恵理さんに報告いただいた。学生と感覚が近い、寄附講座の事務局をして感じたことや考えた内容は、より学生の学びを促進し、学生の視点からどのような講座を組み立てることがいいのかを問いを与えてくれるものとなっている。

埼玉大学寄附講義の報告の特徴として、学生が働くことの意味やあり方をセンター事業団埼玉事業本部が1月末に主催して開催する「よい仕事研究交流集会」でも発表しながら、深めていることである。西山さんの報告からも見えるが学生からは働くことにおける多くの想いと問いが出された。この元になっているのが、協同を軸とした価値観に触れる報告とグループで丁寧な話されたことがあっただろう。ジャーナリストの工藤律子さんとメキシコの労働者協同組合で働くAranzaさんからの報告、映画「ワーカーズ被災地で起つ」での出演者との懇談、センター事業団那須事業所のメンバーとの懇談などは、対面授業のなかでオンラインの環境を生かしたものであった。またグループディスカッションは4人～5人で行い、一人ひとりの働くことの悩み、葛藤、希望などを出し合えたことは、一人

*1 直近では、本誌340号(2021年3月号)で「ワーカーズコープ寄附講座事務局担当者与学生との懇談会報告」を掲載。その他328号(2020年3月号)、316号(2019年3月号)等がある。

ひとりの背景をお互いが知る機会にもなり、感想に述べられたような多様な学びが生まれたように感じた。

桃山学院大学では、ワーカーズコープ新人1年目の石河恵理さんの協同組合観、協同労働観をもとに寄附講座の内容を掲載した。講座を通じて学生の学びを促進するためにどのように今後の寄附講座を展開すればいいのかの考察は、協同労働の職場を創るときに大切にしていくことと重なっているように個人的には感じている。学生とともに石河さんが学んできた軌跡を垣間見える報告となっている。

琉球大学では、沖縄のワーカーズコープ、農協、市民生協、医療生協など多様な協同組合の方々が参加され、学生から「どのようなワーカーズコープをつくりたいのか」を報告していただいた。沖縄での協同組合のネットワークづくりを促進するとともに、学生の報告では、「ストリートアート推進協同組合」「ワーカーズコープ大学」「カットモデルと子どもの居場所づくり」など学生ならではの視点が出されたのは興味深かった。そして受講生の感想から、協同労働に触れることで一人ひとりが社会の変革者であることを思い起こさせる講座になったのではないかと考えている。

2つの中学校での講座では、「中学生にとって協同労働を学ぶこと」をテーマに記述した。協同労働を学ぶことは「なぜ働くのか」「自分と社会・地域とのつながり」を呼び起こすきっかけになることの手応えを感じた。これらの学びは大学生でも同様にあることから、波崎第二中学校の柴田先生が話すように、中学2年生の職場実習の前の中学1年生の段階から協同労働を正面に据えて、中学生とも交流していく場を多くつくりたいと確信した実践でもあった。大泉高等学校附属中学校の三好先生が推進されている「地域課題の発見」を探究する取り組みは、持続可能で活力ある地域社会をめざす労働者協同組合と中学校の学習内容がつながりをもって受け止められる時期に来たと考えている。

総括報告では、7年間の寄附講座の到達点と今後の展望を掲載した。「『協同』を価値とする社会づくりの主体者」を目的に開催し、この7年間でその目的は実現してきたが、学生との出会うきっかけである入口戦略にとどまっている節がある。労働者協同組合法施行時代の寄附講座の展望は、学びをどう行動に移すのかといった事実をつくる出口戦略を描くことが必要だと考えている。そして寄附講座の開講の背景には当初の目的である学校づくりがあるが、この7年間で、学校づくりに本格的に向かう土壌ができたのではないか。その意味でも寄附講座の実績を社会で活かす取り組みが必要だと考えている。また本報告では、1回の講義で協同労働等を紹介する単発講座(鳥取大学、神戸大学、福島大学、明治大学、駒澤大学、京都大学)での学生の感想を紹介し、多様な協同労働観を紹介していることも大きな特徴である。

本号に紹介した以外の学校でも、2021年度千葉大学、沖縄国際大学、久留米大学、新潟大学でワーカーズコープの寄附講座が開催された。沖縄国際大学では既報348号で村上太先生から報告いただき、新潟大学では次号で報告予定である。千葉大学、久留米大学

では次ページ以降にカリキュラムを紹介する。

今年10月1日に労働者協同組合法が施行される。その時代において協同労働や労働者協同組合に注目が集まっている。そのなかで本号は、大学生だけではなく、中学生が感じた協同労働についても紹介したが、若い人たちと協同労働をつなぐ資料として活用いただければと考えている。

寄附講座の実践は、1995年に発表された「協同組合のアイデンティティに関するICA(国際協同組合同盟)声明」の第5原則、「教育、訓練および広報」での「協同組合は、一般の人々、特に若い人々やオピニオンリーダーに、協同組合運動の特質と利点について知らせる」ことを土台として、同第4原則「自治と自立」での「協同組合は、組合員が管理する自治的な自助組織である」ことにも重なると考えている。引き続き、学生が協同・自治を価値とする社会の変革者であることを発見し、持続可能な社会づくりを創造するための人材育成・就労創出の観点から、寄附講座運動を加速させていきたい。

■2021年度千葉大学ワーカーズコープ寄附講座第2タームカリキュラム 「地域で仕事をおこす・入門編」オンライン開催 57名

講義回	日程	内容	担当
第1回	6月8日3限(12:50~)配信	ガイダンス：カリキュラム、本講座の狙い、協同労働という働き方	伊丹謙太郎/ 相良孝雄
第2回	6月15日3限(12:50~)配信	協同労働の働き方を生み出した労働者協同組合の実践と大切にしていること	伊丹謙太郎/ 相良孝雄
第3回	6月22日3限(12:50~)配信	第1回～第2回の学生のリフレクションをめぐって	伊丹謙太郎/ 相良孝雄
第4回	6月29日3限(12:50~)配信	ワーカーズコープちばの実践①	菊地謙
第5回	7月6日3限(12:50~)配信	労協センター事業団東関東事業本部の実践②	大場寛
第6回	7月13日3限(12:50~)配信	第4回～第5回のリフレクションシートをめぐって。学生から見る「協同労働」の可能性と展望	伊丹謙太郎/ 相良孝雄/学生
第7回	7月20日3限(12:50~)配信	まとめ。コミュニティをつくる主体者として	伊丹謙太郎/ 相良孝雄/学生

■2021年度千葉大学ワーカーズコープ寄附講座第3タームカリキュラム

「地域で仕事をおこす・実践編」対面・オンライン開催 全体で23名参加
(センター事業団未来人財部「夏の協同労働インターンシップ」との相乗りで開催)

	時間と内容
第1回 (8/24)	10:00~10:30 「アイスブレイク」(参加者自己紹介) 10:30~11:20 報告:「ワーカーズコープ・協同労働の説明」 (協同総合研究所事務局長兼未来人財部スタッフ・相良孝雄) 11:30~12:30 参加者全員より、感想と質問 13:30~15:45 ワークショップ「あなたにとって、自分らしく生き、働くとは？」 15:45~16:15 感想レポート記入 16:15~16:45 参加者全員より、1日目の感想発表

第2回 (8/25)	10:15~10:30 10:30~12:00 12:10~12:45 14:00~14:45 14:55~16:00 16:00~16:30 16:30~17:00	アイスブレイク 『映画ワーカーズ～被災地に起つ～』視聴 参加者全員より、感想発表 報告：私×協同労働×「ともに生きる地域づくり(登米罾淵)」(センター事業団宮城北エリアスタッフ・竹森 幸太さん) 参加者全員より、自己紹介と感想&質問 感想レポート記入 参加者全員より、2日目の感想発表
第3回 (9/1)	9:45~10:00 10:00~12:00 13:00~14:00 14:00~14:45 14:55~16:00 16:00以降	アイスブレイク 仲間づくり体験(交流体験) 会場移動(対面参加者のみ) 報告：私×協同労働×「自分の生きる場づくり(創造集団440Hz)」(代表・石本恵美さん) 参加者全員より、自己紹介と感想&質問 会場(東京DEW見学)→現地解散
第4回 (9/7)	10:00~10:15 10:15~10:45 11:00~11:45 11:55~13:00 14:00~14:45 14:55~16:00 16:00~16:30 16:30~17:00	アイスブレイク 参加者全員より、3日目の感想発表 報告：私×協同労働×子育て(浦安地域福祉事業所副所長・橋高由美さん) 参加者全員より、感想と質問 私×協同労働×沖縄(センター事業団常務理事兼総務部長・渡口正也さん) 参加者全員より、自己紹介と感想&質問 感想レポート記入 参加者全員より、4日目の感想発表
第5回 (9/8)	10:15~10:30 10:30~11:15 11:25~12:30 12:30~13:30 13:30~14:40 14:50~15:20 15:20~16:20	アイスブレイク 報告：協同労働×「未来」～労働者協同組合法施行に向けて～(協同総合研究所事務局局長兼未来人財部スタッフ・相良孝雄さん) 参加者全員より、感想&質問 昼食休憩 ワークショップ②「あなたにとって、自分らしく生き、働く」ことができる協同労働とは? 感想レポート(「5日間の振り返り」)記入 参加者全員より、「5日間の振り返り」発表(1人5分程度)

2021年度久留米大学ワーカーズコープ寄附講座 「協同組合概論」 対面 91名参加

授 業 計 画	9月24日	第1回	ガイダンス	(伊佐淳、ワーカーズコープ・センター事業団)
	10月1日	第2回	協同組合とは	(横川洋 九州大学名誉教授)
	10月8日	第3回	協同労働①	(ワーカーズコープ・センター事業団)
	10月15日	第4回	農業協同組合①	(福岡県農業協同組合中央会)
	10月22日	第5回	農業協同組合②	(久留米市農業協同組合)
	10月29日	第6回	生活協同組合①	(グリーンコープ生活協同組合ふくおか)
	11月5日	第7回	生活協同組合②	(エフコープ生活協同組合)
	11月12日	第8回	協同組織金融機関	(九州北部信用金庫協会)
	11月19日	第9回	漁業協同組合	(福岡県有明海漁業協同組合連合会)
	11月26日	第10回	森林組合	(福岡県森林組合連合会)
	12月3日	第11回	協同組合間連携	(特定非営利活動法人フードバンク福岡)
	12月10日	第12回	協同労働②	(ワーカーズコープ・センター事業団)
	12月17日	第13回	協同労働③	(ワーカーズコープ・センター事業団)
	1月7日	第14回	振り返り	(伊佐淳、ワーカーズコープ・センター事業団)
	1月14日	第15回	まとめ	(伊佐淳、ワーカーズコープ・センター事業団)

相良 孝雄(協同総合研究所 事務局長)